

行政調査・行政視察委員会活動

沼田市議会として、所属委員会毎に先進的な事例や政策立案の参考となる自治体を訪問させていただき、勉強を行わせていただいております。



甘楽町にある
織田家に築庭された
国指定名勝 楽山園

甘楽郡甘楽町の景観保護及び活用について行政調査

甘楽町の景観保護及び活用について行政調査を行って参りました。甘楽町は景観計画を策定、景観条例を施行し歴史的風致維持向上計画の認定を受けて、まちづくりを行っています。
歴史的な街並みや豊かな自然環境を保全し、それらを活かした良好な景観形成を図り、活力ある地域としていく上で、景観計画は必要であるとしています。
この様なまちづくりは、沼田市においても必要であると考えており、歴史文化を守り継承し景観形成を図ることが、郷土の発展に寄与していくことから、議論を行い、市の活性化に繋がりたいと思います。



茨城県取手市議会へ主権教育についての行政視察

広報公聴準備委員会において、茨城県取手市議会へ主権教育について行政視察を行って参りました。取手市議会では、市立中学校を対象に議会（議員）をよりリアルに体験し、議会の仕組みを知り、取手市の活性化を考察し、選挙を学ぶ教育を実践しています。
議会改革では全国一位になるなど、議会改革においては、日本トップレベルの取り組みを行っており、知り得たことを今後、沼田市にどのように反映できるか議論を深めたいと思います。



令和六年沼田市議会定例会報告

令和六年で開催された三回の市議会（三月・六月・九月）の定例会において、直近、九月議会の議決事項と三月・九月の一般質問の内容を抜粋でご報告致します。

■利根地区防災行政無線の運用再開

令和四年八月末に運用を停止した利根地区防災行政無線ですが、本年三月議会においても、その必要性を訴えさせていただき、また、住民の皆様からの強い要望もあり、十月一日付で本格的な運用再開となります。以前の通信方法とは異なり、今回からは携帯電話網を活用した方式となります。対象となる防災行政無線は「既存屋外支局十八局」と「利根地区コミュニティセンターの屋外新設一局」となります。小松地区はFM-OZEEのFM波の使用となります。
防災ツールの要として継続的な運用に尽力します。

■利根地区コミュニティセンター運用開始

利根支所・公民館が廃止され、跡地に建設された「利根地区コミュニティセンター」の運用が十月一日に開始されます。
これに伴い使用料が決まりましたので、ご報告致します。
使用料は以下の通りで、入場料を徴収する場合や、市民以外の方が使用する場合は、加算額となります。
条件によつては、使用料が減免や無料になることがありますので、該当のウェブサイトをご確認ください。市民皆様の活動にお役立てください。

利根地区コミュニティセンター使用料						
部室区分	時間区分	広さ	定員	午前9時～正午	午後1時～5時	午後6時～9時
1階	会議室	149㎡	72名	1,980円	2,640円	1,980円
	会議室を分割して使用する場合					
	会議室1	74㎡	36名	990円	1,320円	990円
	会議室2	74㎡	36名	990円	1,320円	990円
	研修室	39㎡	24名	660円	880円	660円
	実習室	46㎡	20名	990円	1,320円	990円

●よりよい沼田を創るために
新型コロナウイルス感染症が五類指定に移行され、一年が過ぎ人の賑わいもコロナ禍前の戻っている印象を受けます。
人流の制限により苦戦を強いられていた産業に関わる皆様には朗報である反面、原油はじめ、エネルギー関係の高騰や輸入品の高騰が私達の生活を圧迫しているのも事実であります。
市議会を通じて、国・群馬県に要望を上げていくと共に、沼田市としても支援策を打ち出せるよう働き掛けていきたいと考えております。
地域の産業活性化においては、横塚産業団地の造成など地域に新しい風が吹き込むことが期待されており、私、個人としても多くの企業が興味を持ってくれるようアピール活動を行っていきたいと考えています。
また、利根沼田という地域一体となった観光産業の更なる協力・発展に繋がるよう自らの足を
使い、一観光客として「良さ」と「不便さ」を体感しながら、地域観光の更なる訴求点と改善点を把握し地域に反映していければと考えています。



中曽根衆議院議員、
みなみ町 茂木町議、河合町議
と谷川連峰にて

山宮としお



事後援務会

〒378-0121
群馬県沼田市白沢町高平 47
株式会社ミヤマエンジニアリング内
TEL：0278-53-2512
FAX：0278-53-3034
E-mail：info@y-109.jp
URL：https://y-109.jp

山宮としおの情報は
公式サイト・SNS から

山宮としお 検索



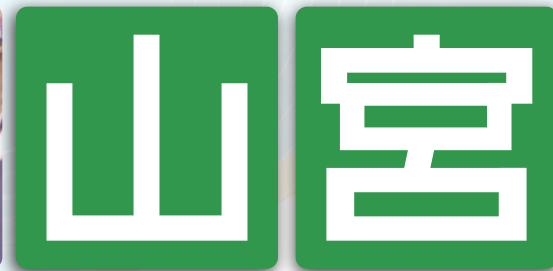
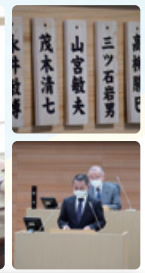
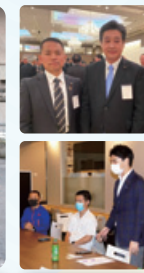
後援会入会もオンラインで行えます
コロナ禍で開始したオンラインでの後援会入会も引き続き受付しております。お手持ちのスマホで、下記のQRコードを読み取っていただき専用フォームから手続きを行って下さい。
最大5人の入会手続きが可能です。



沼田市議会定例会一般質問

- ◆沼田市民が「にこころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち 沼田について」
- ◆地域コミュニティの取組みについて
 - ・利根町・白沢町、支所廃止に伴うコミュニティセンターへの移行について
- ◆伝統文化の伝承と歴史的文化遗产の保存と利活用の取組みについて
 - ・歴史的文化遺産の復元について
- ◆安全安心なまちづくりについて
 - ・利根沼田広域圏、県・国との災害時の避難における連携について
 - ・過去の災害における対策対応の更新について

- ◆市民生活の現状とまちづくりについて
 - ・白沢・利根地区コミュニティセンターの現状と今後について
 - ・白沢・利根地区の地域要望の現状、対応と対策について
- ◆企業誘致と市内企業の現状について
 - ・企業誘致における市内企業との業種の関係性について
 - ・農業系企業の誘致と新規起業支援について
- ◆安全安心なまちづくりについて
 - ・全国各地で頻発する大規模災害発生時の沼田市の対応について
 - ・非常時における電源・飲料水・生活水の確保について



TOPICS

コミュニティセンターへの移行

利根町・白沢町、支所廃止に伴うコミュニティセンターへの移行について、住民の皆様からは不便になるのではないかとという声が聞こえるが、対応が疎かになるのではないかとという声があるが…。

星野稔市長 答弁

職員の人員配置等も含めて、私は後退することはないと思っています。かなりのベテラン職員も配置が新年度できると思っております。

また、テレビ電話での窓口対応を考えているということをやって、先日、その試験的な、白沢、利根に大きい画面のテレビがあって、そこで本庁で確認をしたいことがあった場合に一応本庁各部ごとに一台ずつ、その通信機能のテレビ電話、小さいものが設置をされます。

これは、例えば3つの課に対して絡むような案件があった場合、3人の（職員）の方が同時に対応できますから、当事者を入れて4人で課題解決のためにすぐ打合せができますので、そういった点では決して不便になるということはないと思っております。

※ 議事録より抜粋

伐採要望① 民間企業の協力

支所からコミュニティセンターと変更となったが、職員の人員配置など工夫をしながら住民サービスに影響が出ないよう、また、テレビ電話などを積極的に利用して、効率の良い課題解決に取り組むなど、極め細やかな対応を続けていくということであった。引き続き、住民皆様の声を伺ってきたいと思っています。



高所作業車を出動させ、作業に当たってくださいました。民有地は原則、公費では対応できず所有者の方が自費で伐採などは行うことになりますので、ご注意ください。

TOPICS

コミュニティセンターの現状と今後

支所廃止に伴うコミュニティセンターへの移行について、住民の皆様からは苦情・要望の有無、運用に際して混乱などはなかった。職員からの感想・意見や支所に比べて不便になるのではないかとという不安には…。

星野稔市長 答弁

現時点では混乱なく、苦情や要望は報告されていません。一年前からの事前説明会においては、多くの意見をいただいておりますので、的確に運営できるようにするのが市行政の責任と考えています。

利根コミュニティセンターは新築オープンされることから、私達も期待しておりますし、地域住民の皆様も期待していると考えています。

来月からは部課長会議以外に、現場担当レベルの係長級とのミーティングを課ごとに実施して、意見交換をしていますので、この時に課によっては課題をいただきますので、よく確認をして、現場が最大限、力を発揮できるようにするのが私達の仕事だと思っていますので、全力を尽くしたいと思っています。

※ 議事録より抜粋

伐採要望② 民間企業の協力

利根地区も白沢地区も支所からコミュニティセンターに移換されましたが、大きな混乱などは見受けられないということでした。確かに支所よりも行政機能的な権限は制限されますが、地区で解決できない内容は本庁舎にて解決の糸口を見出せると考えますので、住民の皆様でよりよいコミュニティセンターになるよう活用しましょう。



地域要望がありました今宮川上流の雑木伐採、集中豪雨により被害がそのような場所であり、県管理部分ではありましたが、民間企業のボランティアの方々により、今回二度目の伐採を行っていただきました。

土木建設業社は地域貢献の目標を掲げていることが多いことなので、行政とも調整して無理のない範囲で協力いただける仕組みを築いていければと考えています。

TOPICS

歴史的文化遺産の復元について

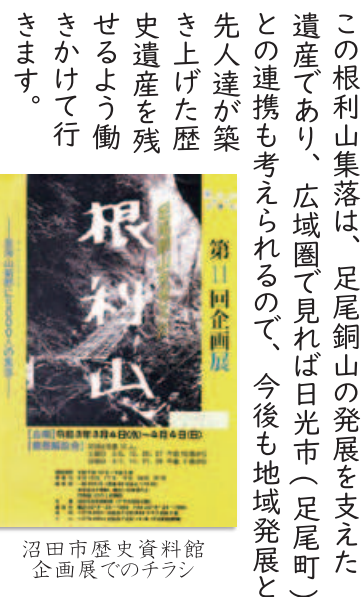
九十年程前に四十年だけ繁栄していた利根山集落に関する歴史文化的遺産について、沼田市の考え・対応などを質問しました。

竹之内教育長 答弁

根利山の復元、維持保存ということでございますけれども、かつて足尾銅山の坑木の集積地として栄えまして、今から約八十六年前ぐらいですかね、幻の集落となった根利山につきましては、郷土の歴史の一部といたしまして市民の方々に知っていただくために、令和三年三月から四月にかけて歴史資料館において、足尾銅山を支えた根利山ということで企画展を開催した経緯がございます。

現在、平滝山神社跡ですとか、または砥沢山神様など、現地に残る遺構はごく僅かであるために、遺構には手を加えずに現状保存が望ましいと現在考えております。

※ 議事録より抜粋



沼田市歴史資料館企画展でのチラシ

利根沼田観光関連の視察・検討

七月七日（日）は谷川岳の山開きで、実益を兼ねて盛況ぶりの視察に行っていました。

山開きということもあり大盛況で、さらに天気にも恵まれて谷川岳主脈縦走登山をすることができ、帰りも一般の登山客の方達と越後湯沢から電車で帰路に着くことができました。

この登山客の皆さんを沼田で周遊いただけるよう策を練っていきたくと考えています。



また、別日には、中曽根康隆衆議院議員、みなかみ町の茂木町議、河合町議と連れだって、再度、谷川岳を視察に行っていました。

山小屋の整備問題の実情などを知っていただき、年間四万人と言われる登山客が楽しんで再び登ろうと思えるよう多方面で協力していきたいと思っています。もちろん利根沼田として観光関連の協力を積極的に進めるよう尽力するつもりです。